

# 万引き防止対策等を紹介

## 防犯スキルアップセミナーをオンラインで開催

### 沖縄県防犯設備協会

セミナーでは沖縄県内の治安情勢や万引き防止対策などが紹介された。

セミナー開催にあたり、沖縄県防犯設備協会の池田典夫会長代行が挨拶。セミナーは2回目の開催となることに加え、協会が設立から2年を迎えることなどを紹介した

上で、「防犯設備士の皆さまには、本セミナーで最新情報と地元で起きている犯罪情勢をしっかりと抑えていただき、そこに合わせた形で様々な機器等についての提案と更なる活躍をとの趣旨で、今回のスキルアップということになっていきます」と語った。

そして、コロナ禍で難しい状況だが、沖縄県内で防犯設備士の認知度向上に向け、活動を進めていきたいとの決意が示された。

第1部では、沖縄県警察本部生活安全部生活安全企画課の國仲治警部補が沖縄県内の犯罪情勢をテーマに講演。令和3年の刑法犯認知件数（暫定値）は5836件で、前

年比で162件の減少。平成14年には本土復帰後では最多となる約2万5600件だったが、各種防犯活動や検挙活動の推進により、令和3年まで19年連続で減少していることなどが説明された。

第2部は、工業会日本万引防止システム協会の稲本義範会長が、「万引き防止に対する知識と機器の活用事例」と題して講演。

稲本会長からは、ロスプリベンション、防犯機器を活用して、効率的かつ安全で個人情報を守りながら防犯活動に取り組む科学保安のアプリケーションなどを紹介。渋谷書店万引対策共同プロジェクト（渋谷プロジェクト）における、マスク着用にも対応した顔認証を活用した取り組み、万引きGメンの現状にも触れ、様々な取り組みに対する理解を求めた。

第3部では、「防犯設備士の養成講習・資格認定試験のIT化」について、日本防犯設備協会の取り組みが説明された。

沖縄県防犯設備協会

（沖縄県宜野湾市）は、

1月28日に防犯スキルアップセミナーをZoomオンラインで開催した。